

女性自立

ハンディクラフト技術を持つ強みを生かし健康と収入向上をめざす COWHED と MULAN

6月訪問時には、ブラコンから20分ほどの距離にあるトゥヤン村のヘルス組合 MULAN も訪ねました。3年前に支援した国道沿いの店舗兼工房の棚には、涼しげなデザインの新作バッグが並んでいました。ヘルス活動の資金作りのはずが、保健研修等より、バニグ編作り自体が目的になっているとナブサさんから聞いたことがあります。そういえば、COWHED も「女性の健康と開発」の組合ですが、ヘルス研修などの報告は余り聞きません。しかし、いずれも国内、あるいは、海外でも売れるハンディクラフトがあることが強みになって、私たちの支援への依存度は確実に減っています。

バニグ編(左)とティナラク織バッグ



ビラーン民族とムスリムからなる組織 MULAN は、マラパタン町のフェスタでも、バニグ編みのブースが賞を受けるなど評価されて、多目的センター建設を町が約束したと聞きましたが、進展していないようです。3年前に建てた工房が今も活動拠点になっています。

アバカ(糸芭蕉)を素材として、草木染め、手織のティナラクは、すでに内外の評価を得ている伝統工芸品ですが、バロンギスの葉から作るバニグ編技術習得は比較的容易で、MULAN だけのものではありません。それだけに、常に売れる製品づくりの工夫と努力が続けられています。

現地訪問報告

ブラコン村 MULAN の石鹸作りを見学して

— ミンダナオ島 2 回目の訪問(6/11-19)から —

理事 高山好主

ミンダナオ島のサラングニ州アラベル町カワス村ブラコン地区で石鹸を作る場所を見学しました。

冷製法(コールドプロセス)という方法です。

- 1 植物油に苛性ソーダを加える。
- 2 約30分よく攪拌する。この時、化学反応の発熱のみで鹸化させる。(炊き込み法では、この時加熱させる)
- 3 得られたものを型に入れて冷却、約3日間乾燥させると、固形石鹸になる。

なお、この時は、最初に植物油にマルンガイという薬草を煮溶かしたものをに入れて、ハーブ石鹸にしていました。



MULAN 集会室の棚に並べられていたハーブ石鹸 (一部ケース入り)



植物油に苛性ソーダを加えよく攪拌する



プラスチックの型に入れる



左の写真はジェネラルサントスのスーパーマーケットで売っていたマルンガイ入りハーブ石鹸です。

効能には、アンチエイジング、抗菌性、抗にきび、乾燥肌に潤いを与える、肌につやが出る等と書いてあります。ブラコンの石鹸のラベル作成の際に、参考になりそうです。

日本に帰ってきてから調べると、「マルンガイ」という植物は別名「奇跡の木」とか「生命の木」と呼ばれる熱帯・亜熱帯地方に自生する樹木です。成長がとても速く、葉や茎、実など部位を余すことなく利用できるそうです。日本名は根の味が西洋ワサビに似ていることから、「ワサビの木」というそうです。

日本では沖縄ならば路地で成長するかもしれませんが、関東地方では、冬は室内に入れ、ある程度の温度を保たないと冬越しが出来ないようです。インターネットで調べると苗を売っているようでした。



ジェネラルサントス・カルパンの教会宿泊施設の庭にあった「マルンガイ」の木。30cm 位のインゲンのような実がなっていました。